

土佐清水市

海癒 (温泉宿)



『まろやかで芯からぬくもる 薪ならではの湯力』

- 活動時期 → 毎日
- 活動場所 → 施設内
- 主な活動メンバー： 岡田 充弘さん
【ホームページ】 <http://kaiyu.in/>

■「素」のままに「できるだけ」できることをやっていく

(取り組み内容)

◆できるだけ自然の心地よさを引き出せる施設創り

- ・風の抜ける空間・太陽で温かい空間
- ・冷暖房の必要のないフロントロビー、更衣室。

ほとんどの温泉施設は冷房を効かせた更衣室に対して、海癒の場合はそれがなく、風や太陽に浴びる心地よさでゆっくりと自然に体を冷やす。

- ・廃材利用

お風呂は廃材を薪にして手づくべる。薪で沸かす結果、湯力、やさしく力のある湯となる。湯がまろやかで湯ざめしない、芯からぬくもり、それが長い時間維持される。

◆できるだけ科学物質を使わない

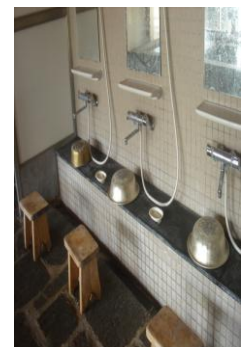
- ・塩素を入れないお湯。源泉のかけ流し。
純石鹸で体も髪もあろう。お風呂場も石鹸で洗う。
- ・隣接して建つリゾートマンションを改装中。
スギ、ヒノキ、漆喰、流木など土佐の天然素材をつかう。
→ 何名もの建築士に相談し、
7人目でようやく理想に近い人に出会う



風の抜ける空間 (フロントロビー)



廃材を利用しお湯を沸かす



やさしく力のある湯となり、湯がまろやかで湯ざめしない

((うれしかったお話))

同じ豊かさの価値観を持つ方がお客さんとしてきてくださること。

◆取り組みの手順（お風呂）

- ① 廃材は適当な大きさに切る。
- ② 日の出とともに火入れ。
- ③ 薪は一時間に一回くべる。

※相当の労力がかかるが、他の仕事（掃除、接客、パソコン）とバランスをとりながらこなす。

◆想いを伝える広報

ブログを通して「海癒」の理念、生き方、考え方を発信。
一日 1,000~1,200 件のアクセスがある。（毎日更新）

ブログをみて同じ豊かさの価値観を持つ方がお客さんとしてきてくださる。初めから分かりあっている感じでこちらもとても楽しめ楽しい。

◆経費のお話など

- ・ 重油の場合 80~100 万円近い経費がいるが、廃材はタダ。ただし、それ相当の労力がかかる。
- ・ 改装したいという若手の建築家グループ（吉永建築改装隊）とコラボして、宿代なし、改装の手数料なし。



廃材は適当な大きさに



薪は 1 時間に 1 回



◆取り組みを進めるためのポイント

「素」であること

施設、湯、食、岡田さん自身もすべて一貫して「素」であること「素」のままであることを大切にしている。

◆理念

ずっと豊かさを問いかけてきた。より豊かな暮らしとは何か？次の世代の子供達に何を残していくべきなのか？そんな素朴な疑問に「自然への畏敬の念」を持ちながら（4~50 年前までの自然に感謝しながら「自然と寄り添って生きる」という暮らしを参考にしながら）時代に逆行するのではなく、今の時代に則した形で（快適性をめざした形で）、より良い環境を創っていかうと考える

・・・岡田さんにとっての豊かさとは＝家族が笑顔でご飯を囲みおいしく食べること・・・

（平成 21 年 8 月現在）